

令和六年第三回薩摩川内市議会定例会 施政等の概要

令和六年第三回市議会定例会の開会に当たり、現時点における諸報告と所信の一端を申し上げますとともに、このたび提案いたしました補正予算案等の概要を御説明し、議員各位並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたいと存じます。

まず、災害対策につきましては、先月十四日から断続的に強い雨が降り続き、翌十五日の午前四時二十五分には、鹿児島県及び鹿児島地方気象台から土砂災害警戒情報が発表されたことを受けて、湯田地区に「避難指示」を発令いたしました。幸いにして、本市においては、人的な被害はなく、家屋及びライフライン等も大規模な被害は生じなかったところであります。

六月、七月と、大雨が降り続き、市内では道路の損壊や林地崩壊等の被害が発生しており、また、これから、台風による風水害の発生が懸念される時期を迎えます。引き続き、これらの自然災害に十分に警戒して参ります。

今月八日の午後四時四十三分頃、日向灘を震源とする地震が発生し、本市においても、最大震度四を観測しました。これを受け、同日午後七時十五分には、気象庁から、運用開始以来初めてとなる南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）が発表され、本市においても、災害警戒本部体制をとり、警戒を続けたところであります。

ます。この臨時情報については、発災後、一週間を経過した今月十五日の午後五時をもって、巨大地震注意の呼び掛けが終了し、本市も災害警戒本部体制を解除しましたが、今回の地震を踏まえ、日頃からの地震や津波への備えについて、更なる周知を図って参ります。

先月十七日、災害発生時において迅速な救助活動に役立つ、水中ドローン一式を寄贈いただいた、本市在住の山室克己様に、感謝状を贈呈いたしました。このたび寄贈いただきました機材は、夜間における水中の情報収集を可能にし、潜水隊員等の活動の安全性の向上にもつながるものであります。山室様の御厚意に対しまして、改めて心より御礼申し上げます。

今後におきましても、いつ起こるか分からない災害への備えに万全を期すとともに、適時・的確な情報提供や防災体制の強化に努めて参ります。

本年四月にスタートいたしました市誕生二十周年記念事業につきまして、先月二十一日、東京都千代田区のかごしま遊楽館等において、薩摩川内フアンデーを開催いたしました。会場には、本市ゆかりの方々をはじめ、約三千名の皆様にお越しいただき、市内八事業者による物産販売や特産品等の展示・試着体験、観光PRなどで、大いににぎわったところであります。本市の魅力を発信した今回のイベントを、本市の更なる認知度の向上と、多く

のファンの獲得につなげ、特産品の販路拡大や、関係人口の創出及び定住人口の増大に生かして参ります。

また、今月十六日に開催された川内川花火大会につきましても、市誕生二十周年を記念し、一万一千発の色鮮やかな花火が打ち上げられ、市街地の夜空を華やかに彩ったところであります。

今後、来月二十八日及び二十九日に、若者とアーティストによる市民参加型のイベント「薩摩川内音楽祭 コカフェス二〇二四」を、十月十二日には、市誕生二十周年記念式典等を開催し、市政発展に御尽力いただいた方々を表彰する予定としております。加えて、これまで地域の皆様により受け継がれてきた川内大綱引や薩摩川内はんやまつり、また、これまでの市民運動会をリニューアルするスポーツフェスタなども、市誕生二十周年の冠を付して開催いたします。さらには、市民協働事業につきましても、十事業が採択され、先月から市内事業者・団体等によるイベントが実施されています。これらの記念事業を通して、多くの市民の皆様が集い、共に楽しむ機会を創出し、市民の皆様の笑顔があふれるまちとなるよう、努めて参ります。

本年度の施策のポイントの一つとして掲げた「子ども・子育て」に関連し、様々なライフステージにおける支援等を総合的に展開するため、少子化対策・子育て支援の促進に向けた実行計画の策定、横断的な組織及び財源の検討に着手いたしました。この推

進体制として、本日、市長を本部長とする「少子化対策・子育て支援戦略推進本部」を設置することとしております。

また、今日五日には、市の女性職員十名と、仕事と子育てが両立できる職場環境の整備について、八日には、本市の女性活躍推進認定企業等において共働きで子育てをされている女性九名の皆様と、働くことと子育てすることに関する現状や課題等について、意見交換を実施いたしました。今回いただいた御意見や、これまで市民の皆様との対話として実施した市長ＤＴーク等における御意見も参考にしつつ、働きながら安心して子どもを産み育てられる支援の更なる強化に努めて参ります。

本市の経済好循環の創出において喫緊の課題となっている「産業人材確保・移住定住戦略」の支援事業等につきまして、市内の高等学校及び大学等の七校にチラシを配布するとともに、夏の帰省時期に合わせて、ＳＮＳ等を活用し、広く周知を図ったところであります。引き続き、支援事業等の認知度を高めるとともに、地元企業を知る仕組みづくりを進め、本市で「暮らす」・「働く」魅力について、積極的に情報を発信して参ります。

さて、令和四年二月に、市長戦略方針として公表いたしました「アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望」につきまして、本市の未来発展に向けた施策を着実に進めております。

第三次薩摩川内市総合計画の策定につきましては、先の総合計

面基本構想審査特別委員会においても、市議会の皆様から様々な御意見をいただいております、前期基本計画や個別計画の策定など、今後のまちづくりにおいて、十分に参考にして参りたいと存じます。

循環経済・産業拠点の創出につきましては、重要港湾川内港に關して、先月十八日に、川内港整備促進期成会により、国土交通省に対して、国直轄事業で進められている川内港唐浜地区国際物流ターミナル整備事業の促進に向けた要望活動を実施いたしました。

加えて、今月一日には、昨年につき、東京都内でポートセミナーを開催いたしました。今回のポートセミナーでは、川内港の現状に加え、川内港臨海ゾーンの整備構想を説明するとともに、本市の企業誘致施策を紹介したほか、本市の立地企業である株式会社アルナの雪山大代表取締役社長にも御講演いただくなど、船社・商社・物流業の関係企業等の方々に、川内港の物流サービスや本市の産業戦略等について、強くアピールしたところであります。

さらに、今月八日には、本市選挙区選出の鹿児島県議会議員三名の皆様にも同席いただき、塩田康一鹿児島県知事に対し、川内港唐浜地区国際物流ターミナルの早期整備について、改めて強く要望いたしました。これに対し、知事から「川内港に令和九年

度末までにガントリークレーンを設置する」旨の回答があったところでもあります。知事の設置方針の表明は、唐浜埠頭整備における大きな前進であります。なお、本市といたしましては、鹿児島県に対して、令和七年度以降に想定される船舶の大型化への対応と、ガントリークレーンの整備スケジュールにつきまして、一日も早い供用開始に向けた要望を続けて参ります。

また、川内港久見崎みらいゾーンについても、引き続き、川内港に近接するなどの立地環境を生かし、早期分譲に取り組んで参ります。

これらの拠点整備と併せて、川内港臨海ゾーンにつながる交通ネットワークの早期整備にも取り組んでおります。先月十六日には、南九州西回り自動車道建設促進協議会による中央要望を実施し、また、今月三日には、二回目となる、川内宮之城道路の構想実現に向けた決起大会をSSプラザせんだいで開催し、約七百名の参加の下、地元の熱い思いをアピールし、気運醸成を図ったところであります。今後も、地域の皆様や関係市町の皆様と共に、市民生活の向上や防災体制の強化、物流の効率化などによる産業活動の発展に資する広域交通網の整備を推進して参ります。

雇用の創出につきましては、先月十一日に、つるぎグローバル株式会社と、入来工業団地における工場新設に係る立地協定を締結いたしました。入来工業団地への立地は、三社目となります。

今回の工場新設が、本市東部区域における地域経済の浮揚や雇用の創出につながるものと期待しております。

また、先月十日には、本市の立地企業である京セラ株式会社及び京セラコミュニケーションシステム株式会社と包括連携協定を締結いたしました。令和三年六月の「薩摩川内市未来創生SDGs・カーボンニュートラル宣言」の趣旨を踏まえ、今回の協定締結を契機として、社会的課題の解決や持続可能な地域づくりに向けて、連携・協働して具体の事業の検討に取り組み、本市の市民サービスの向上及び地域の活性化に生かして参ります。

交流の創出につきましては、先月十一日、甕島航路の新たなフェリーとなる「結 Line こしき」の命名・進水式が、広島県尾道市で執り行われ、私も出席いたしました。今後、来年二月の竣工、三月の就航を目指し、建造が進められます。このたびの新船就航により、甕島市民の皆様のフェリーによる移動が、より快適なものとなるとともに、甕島を訪れる観光客の皆様の魅力の一つとして、多くの方々に親しまれ、甕島の振興につながることを期待しております。

また、来月七日及び八日には、第三十三回全国市町村交流レガッタ薩摩川内大会が、本市の川内川特設会場で初めて開催されます。この大会は、当初、令和二年九月の第二十九回大会の開催を予定しておりましたが、新型コロナウイルス感染症の影響に

より中止となったことから、本市にとりまして、念願の開催となるものであります。雄大な川内川で繰り広げられる熱い競漕を、ぜひ市民の皆様もお楽しみいただきたいと存じます。全国からお越しいただくクルーの皆様、御健闘と本市から出場される皆様の御活躍を心よりお祈り申し上げます。

甬島医療体制の整備につきましては、現在、（仮称）上甬島診療所の実施設計・地質調査業務に着手しております。今後、関係者や地域の皆様との協議・調整等を行いながら、令和八年度中の開所に向けた準備を進めて参ります。

今後におきましても、これらの「アフターコロナを見据えた薩摩川内市の中期的展望」に掲げた施策の推進に積極果敢に取り組み、本市の未来創生の実現に全力を傾注して参ります。

また、川内原子力発電所に関しまして、先月二十四日に、九州電力株式会社の池辺和弘代表取締役社長と市役所で面会し、一号機が運転開始から四十年の節目を迎えたことや、先月三日に、大田黒博市議会議長と共に行った要望への対応等について、説明を受けました。これに対し、私からは、改めて、安全な運転管理の徹底や市民に対する積極的な情報公開と分かりやすく丁寧な説明を行うことなどを強く求めたところであります。

次に、今回の補正予算案について御説明いたします。

今回の補正予算案は、一般会計において、十億二千八百八十六

万二千円の増額補正を、五特別会計において、五千六十万一千円の増額補正を、また、下水道事業会計に係る補正を提案したものであります。

一般会計につきましては、歳出において、給食等の実施の確保を図るための保育所等への支援や就農者育成拠点施設整備の支援に係る経費を計上したほか、閉校跡地の利活用のための遊休公共施設等の増築及び改修の助成に係る経費を増額しております。また、職員異動等に伴う給与費関係の調整を行うとともに、前年度繰越金の確定に伴う財政調整基金への法定積立の増額を行っております。

歳入においては、補助事業等の内示等に伴う国・県支出金及び市債等を調整したほか、繰越金の増額などを行っております。

特別会計につきましても、一般会計と同様に職員給与費関係の調整を行っているほか、国民健康保険直営診療施設勘定特別会計では、甕島の診療所における医療機器の整備に係る財源調整を行っております。

なお、今定例会においては、補正予算案のほか、薩摩川内市子ども医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例の制定についてをはじめとする各議案について御審議をお願いしておりますが、会期中に令和五年度各会計決算に係る認定議案等を追加提案させていただく予定でありますので、御了承を賜りたいと存

じます。

提案いたしました各議案の細部につきましては、主管部・課長から説明させますので、何とぞ慎重なる御審議を賜りますようお願い申し上げます。